

知って備える 防災メモ

第62回



季節はずれの大雪に備えて

3月になると、少しずつ日の長さも感じるようになり、降り積もった雪が徐々に減り始め、春の訪れを感じるころが多くなりますが、北海道の3月から4月にかけては、高気圧と低気圧が交互に通過し、天気が変わりやすい時期でもあります。

この時期の胆振地域においては、発達した低気圧が北海道の太平洋側に位置した場合、大雪や吹雪が発生する可能性が高く、特に注意が必要です。

日頃から、気象情報をこまめに確認し、大雪や暴風雪に関する警報などが予想される場合は外出を控えましょう。

○屋内で安全に過ごすために

・F F式暖房機などを使用している場合は、給排気口付近が雪でふさがれないよう注意しましょう。

・停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオ



オ、防寒具、ポータブルストーブなどの準備をしておきましょう。

○やむを得ず、車で外出するときは

・車に防寒具や長靴、手袋、スコップ、牽引ロープなどを用意しましょう。

・携帯電話や飲料水、非常食などを持ち、燃料を十分に補給しておきましょう。

○運転中に暴風雪に遭遇したら

・見通しが悪いなど、危険を感じた場合は、無理をせず避難できる場所まで天候の回復を待ちましょう。

・車が立ち往生した場合、ハザードランプを点灯させるなど、停車していることを知らせるとともに、消防や警察などに救助を依頼しましょう。

・車で救助を待つ場合は、低体温症に注意しながら、基本的にはエンジンを切りましょう。寒さなどで、やむを得ずエンジンをかけるときは、換気に注意し、こまめに排気管のまわりを除雪することが重要です。

▼問い合わせ

総務グループ

(☎⁸⁵1130)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group



ダンス わしこうD愛好会

『わしこうD愛好会』は、平成24年に発足したサークルです。現在、会員は70代前後の男女20人。毎週木曜日の14時から16時まで、鶯別公民館で活動しています。

社交ダンスを多くの人に気軽に楽しんでもらおうと、同サークルを立ち上げ、チラシを配るなどして仲間を募ったという代表の斉藤巧さんは、「普段の練習は、準備体操から始まり、ワルツやタンゴ、ルンバなど、7種類の踊りを反復して覚えていきます。ペアを交代しながら、全員と楽しく踊れるようにしていきます」とサークルの活動について話してくれました。

また、同サークルは毎年、文

社交ダンスを通して仲間との交流を楽しみませんか

女性会員の加茂谷イホさんは、「社交ダンスはいい運動で健康にもつながるので、楽しく続けたいです。また、男性と女性が手をつなぎ、相手を思いやることのできる素敵な踊りです」と社交ダンスの魅力を実顔で語ってくれました。

見学や体験、入会を希望する方は、斉藤さん(☎090-1669513470)まで。



▲音楽に合わせてステップを踏む会員